

[報告]

「学びの杜・学術コース」の企画と実施に関する報告

松 下 晴 彦*

1. 「学びの杜・学術コース」の沿革・概要

本学における高大接続（アーティキュレーション）プログラム、「学びの杜・学術コース」の発端は、2002年より開始された「学びの杜」に遡ることができる。2002年度の「学びの杜」は、附属学校と大学との連携講座として、年間10講座ほどを準備し、それぞれ1～3回程度の短期で開講した。その後、2005年度より、「学びの杜・学術コース」として「心理学探究講座」「教育学探究講座」「理学探究講座」「法学探究講座」「サマー・スクール」が開講され、2006年度には、「理学探究講座」「法学探究講座」「生命科学探究講座」「地球市民学講座」などへの拡張がはかれると同時に、「心理学探究講座」「教育学探究講座」「サマー・スクール」についてはこれらを統合し、「人間発達探究講座」として開講された。2007年度についても、この方法が踏襲された。この間、「サマー・スクール」「人間発達探究講座」については、附属学校以外の一般校の生徒に開放していたが、2007年度は、さらに「理学探究講座」「法学探究講座」についても解放し、若干名の学外の生徒が受講した。

これまでのところ「学びの杜・学術コース」のミッションは次の三点にある。第一に、高等教育機関における学術研究の最先端としての、知の探究の成果や方法を、広く地域社会（ここでは特に高校生を対象）に解放していくことであり、第二に、高大アティキュレーションの課題—中等教育のカリキュラムとポスト中等教育カリキュラムの間の連続性と発展性、高校生に対するより学際的、専門的、教養的ディシプリンとラーニングの機会の提供、中等教育から高等教育をつなぐ系統的な学びのための教材開発などの課題—を担っていること、第三に、教育機関のマネジメントに関わる課題として、高大接続のためのワークショップの実践、AO入試関連、ア Kredィテーションなどのリサーチ課題であった。

これらの諸点を背景に、2008年度は、さらに開設講座の充実をはかり、新たに「文学探究講座」「視覚文化探究講座」「電子工学探究講座」「コンピュータ活用探究講座」を企画した。

* 中等教育研究センター長

2 2008年度の「学びの杜・学術コース」概要とスケジュール

以下は、講座案内に記載された各講座の概要とスケジュール他である。

(1) 「理学探究講座」：私たちは暗黒宇宙から生まれた。

期 日	時 間	担当者	テーマ	概 要
10月25日（土）	10：00－12：00	福井 康雄	宇宙誕生	137億年前のビッグバンによる宇宙誕生の解説
11月1日（土）	10：00－12：00	福井 康雄	天体の運動	惑星がどのように運動するか、原理を解説
11月8日（土）	10：00－12：00	福井 康雄	光と電波	宇宙の放つ、光や電波という電磁波を解説
11月15日（土）	10：00－12：00	福井 康雄	電波で宇宙を見る	電波で見た宇宙の姿を学ぶ
11月22日（土）	10：00－12：00	福井 康雄	全体のまとめ	講座のまとめ

定員：40名 申し込み締め切り：9月30日（火）

担当部局：理学研究科

(2) 「地球市民学探究講座」：地球規模のさまざまな問題—経済格差、貧困、民族紛争、学校化などを取りあげながら、異文化理解の方法や地球市民としてのあり方について考えていきます。

期 日	時 間	担当者	テーマ	概 要
6月28日（土）	10：00－12：00	齋藤 洋典	グローバル化と他者理解	人の身になって考えるとはどういうことか。同じ文化及び異なる文化の背景をもつ人々が互いに理解しあうことの意味とその方法を一緒に考えます。
7月5日（土）	10：00－12：00	中西 久枝	戦争と平和 その1 イスラーム世界とは何か	異なる世界観、価値観をもつ日本とイスラーム世界の人々との共存を考えます。
7月12日（土）	10：00－12：00	中西 久枝	戦争と平和 その2 イスラーム世界と欧米	異なる世界観、価値観をもつ日本とイスラーム世界の人々との共存を考えます。
7月19日（土）	10：00－12：00	服部 美奈	東南アジアと国際教育協力	東南アジア地域における国際教育協力のあり方の概観と、地球規模の問題に取り組む団体を取り上げながら、国際教育のあり方について考えます。
8月2日（土）	13：30－14：30	サガヤラーヂ (南山大学)	インドと日本	インドと日本の文化や伝統、慣習の相違について具体例に基づきながら学び、異文化理解の仕方について探究していきます。

10月18日 (土)	10:00-12:00	野田 真里 (中部大学)	世界の貧困	3秒に1人なくなる子ども—他人事ではない世界の貧困。グローバル化の進展とともに拡大する経済社会格差と深刻化する貧困問題について、私たちの生活との関連において、参加型ワークショップの手法を用いて考えます。
11月1日 (土)	10:00-12:00	野田 真里 (中部大学)	国際協力と地球市民	貧困なき地球社会のために—他人事ではない日本の、そして世界の貧困問題の解決のために、何をなすべきなのか、そして私たち市民は何ができるのかについて、参加型ワークショップの手法を用いて考えます。
11月15日 (土)	10:00-12:00	山田 肖子	<学校(教育)>に行く意味を考える	日本では当たり前になっている学校教育が普及していない地域が世界には沢山あります。そういう場所で、教育機会が広がるということは何を意味するのでしょうか。私たちはなぜ学校に行くのでしょうか。
11月22日 (土)	10:00-12:00	堀江 未来	世界で学び、自分を創る	海外留学のいろいろな形、それによってもたらされる様々な効果について紹介し、自己実現のための進路設計について具体的に考えます。
12月6日 (土)	10:00-12:00	佐藤 良子	国民的ステレオタイプ	ステレオタイプとは何か?なぜ人びとは他の国民の人たちに対してステレオタイプを持つのだろうか?こうしたステレオタイプには信憑性があるのか?このような質問に答えたいと思います。

定員：40名 (35名：名大附属校生、5名：その他) 申し込み締め切り：6月20日 (水)

担当部局：国際開発研究科、教育発達科学研究科、情報科学研究科、留学生センター

(3)「生命科学探究講座」：今年は、『生物多様性からみた生命』『生命を支えるしくみ』をテーマに、生命の多様性と進化について、植物や動物(骨)、食べ物の消化・吸収、生命を支える物質などから探究していきます。

第一部 「生物多様性からみた生命」				
7月22日 (火)	10:00-12:00	西川 輝昭	生物多様性と進化	生物の多様さと、それをもたらす進化について、理論と実際の両面から考える。標本観察も行う
	13:00-14:30	西田佐知子	植物から学ぶ—生命の多様性—(半分は博物館にてレポート作成)	植物進化を野外観察園で学ぶ

	15:00-16:30	西田佐知子	植物から学ぶ—生命の多様性—(半分は博物館にてレポート作成)	植物進化を野外観察園で学ぶ
7月23日(水)	10:30-12:00	新見 倫子	骨から学ぶ(1)—出土骨からみえるもの	魚類から哺乳類までの出土骨
	13:00-14:30	蛭薙 観順	骨から学ぶ(2)—トリの骨からみえるもの	トリ骨格標本、顕微鏡標本
7月24日(木)	10:00-12:00	吉田 英一	バイオミネラリゼーション—生物が造るさまざまな鉱物	標本観察を含む

第二部 「生命を支えるしくみ」

7月25日(金)	10:00-12:00	小田 裕昭 (生命農学研究科)	食べ物がどうやって栄養になるか	食べたものが身体に取り込まれる消化吸収のメカニズムと、それが生物にとってどのような役割を果たすかについて学ぶ
8月1日(金)	10:00-12:00	大場 裕一 (生命農学研究科)	生物発光のしくみ	海や陸に住むさまざまな光る生き物を紹介し、その発光する化学メカニズムについて解説する
8月7日(木)	10:00-12:00	東村 博子 (生命農学研究科)	生命をつなぐ生殖のしくみ	動物の生殖機能がどのような仕組みによりコントロールされるのかについて、脳とホルモンの働きを中心に学ぶ
8月8日(金)	10:00-12:00	伊藤 知彦 (理学研究科)	生命を支える物質の研究	生命は物質が織りなす営みである。物理学的な手法や考え方を通して、生命物質の研究を紹介する

定員：30名（25名：名大附属校生、5名：その他） 申し込み締め切り：6月30日（月）

担当部局：名古屋大学博物館、理学研究科、生命農学研究科、附属高等学校

(4) 「文学探究講座」：最前線で活躍する研究者による、『ヘレニズム文明を発掘する』『日本語の不思議』『美術品の暗号解読：寓意画を読む』『インド古典語サンスクリットの不思議』『中国古代の宇宙論』の講義です。

日	時間	担当者	テーマ	概要
7月30日(水)	10:30-12:00	周藤 芳幸 (西洋史学)	ヘレニズム文明を発掘する	ギリシア文明とオリエント文明との出会いから生まれたヘレニズム文明。この授業では、その時代に生きた人々の暮らしを、エジプトで行っている遺跡の発掘成果から復元します
	13:00-14:30	町田 健 (言語学)	日本語の不思議	日本語は難しいとか、最近は日本語が乱れているとか言われますが、本当にそうなのかを、言語学という学問の視点から解説します。

7月31日(木)	10:30-12:00	木俣 元一 (美学美術史学)	美術作品の暗号解読：寓意画を読む	美術作品のなかでもいちばん謎が多いので寓意画というジャンル。簡単な寓意画からいまだに答が見つかっていない寓意画まで、いろいろな作品を紹介します。
	13:00-14:30	和田 嘉弘 (インド文化学)	インド古典語サンスクリットの不思議	古代インドで使われていたサンスクリットという言葉には、日本語や英語にはない不思議な特徴がいくつもあります。この授業ではそれらの特徴について解説します。
8月1日(金)	10:30-12:00	神塚 淑子 (中国哲学)	中国古代の宇宙論	中国古代において、宇宙や自然をどのように認識していたのか、宇宙創世神話や「気」の思想、小宇宙としての人体の観念などについてお話します。

定員：50名 申し込み締め切り：7月10日(木) 担当部局：文学研究科

(5)「法学探究講座」：法の捉えかた・考え方、ジェンダー、憲法の成立と仕組み、格差社会、ナポレオン法典などをテーマに、法学探究についてともに考えていきます。

日	時間	担当者	テーマ	概要
8月1日(金)	10:30-12:00	石井 三記	フランス革命とナポレオン法典	フランス市民革命の意味と、その中で生まれたナポレオン法典の背景について話す。
	13:00-14:30	田村 哲樹	ジェンダーで切る	ジェンダーという言葉や男女共同参画社会、そしてそれが政治においてどういう意味を持つかについて話す。
	14:45-16:15	愛敬 浩二	憲法と国際平和・協調	国際平和を確立する上で憲法9条がどういう役割を果たすか、自衛隊のイラク派遣が憲法違反とされた判決の意義と課題について話す。
8月2日(土)	10:30-12:00	本 秀紀	政治立憲主義とは	憲法を支える立憲主義とは何か、日本国憲法の理念は何かについて話す。
	13:00-14:30	和田 肇	若者を取り巻く労働環境と働くことの意味	格差社会、雇用の二極化、ワーキングプアといったキーワードを中心に、現代雇用社会の問題とそこで働くことの意味について話す。
	14:45-16:15	和田 肇	法と労働法を学ぶ	総論として、法律のイメージ、その役割について話した後に、各論として、労働法、特に働く現場と関係した労働基準法の話をする。

定員：40名 申し込み締め切り：7月10日(木) 担当部局：法学研究科

(6) 「人間発達科学探究講座」：教育と人間発達について探究する5つのコース、『第1コース（生涯教育開発）：生涯にわたる学びと人間形成』『第2コース（学校教育情報）：人と学ぶ楽しさと意味の探究』『第3コース（国際社会文化）：異文化との出会いと自己探究のドラマ』『第4コース（心理社会行動）：人間の心と行動を解き明かす』『第5コース（発達教育臨床）：人間関係を学ぶ／人間関係から学ぶ』を開講します。（受講生は1コースを選択して受講します。）

「第1コース（生涯教育開発）：生涯にわたる学びと人間形成」				
時間	担当者	テーマ	概要	概要
8月7日（木）	10：30～12：00 13：00～14：30 14：45～16：00	李 正連 ほか	生涯にわたる学びと人間形成	私たちは社会に働きかけると同時に、社会の中で形成されます。このコースでは、人間形成に関する社会の仕組みと、逆に社会の中で私たちがどのようにつくられていくのかという視点から、社会と社会における「自分」の存在について考えていきます。
「第2コース（学校教育情報）：人と学ぶ楽しさと意味の探究」				
時間	担当者	テーマ	概要	概要
8月7日（木）	10：30～12：00 13：00～14：30 14：45～16：00	南部 初世 ほか	人と学ぶ楽しさと意味の探究	学校とは何か。人間が学ぶとは、成長するとはどういうことか。学校のあり方を考察しながら、学校の中で「私」がどのように形成されるのか、学校は私たちが社会で生きていくためにどのくらい助けとなっているのか、学校と社会、「私」の関係について考えていきます。
「第3コース（国際社会文化）：異文化との出会いと自己探究のドラマ」				
時間	担当者	テーマ	概要	概要
8月7日（木）	10：30～12：00 13：00～14：30 14：45～16：00	松下 晴彦 ほか	異文化との出会いと自己探究のドラマ	現代社会は、国際化・グローバル化が多くの問題をもたらしながら加速的に進展していく社会です。このコースでは、先ず異文化の人びとの出会いと語り合いを体験してもらい、次にその体験から自文化を再発見し、自己を表現しながら、（異文化間の）相互理解の重要性について考えていきます。
「第4コース（心理社会行動）：人間の行動と心を解き明かす」				
時間	担当者	テーマ	概要	概要
8月7日（木）	10：30～12：00 13：00～14：30 14：45～16：00	吉田 俊和 ほか	人間の行動と心を解き明かす	このコースでは、心理学が人間の行動をどのように解き明かそうとしているのかについて解説します。日常場面での人の行動を説明する方法や、パーソナリティ（性格）の捉え方など、簡単な実験を通して体験してもらいます。

「第5コース（発達教育臨床）：人間関係を学ぶ／人間関係から学ぶ」

時 間	担当者	テーマ	概 要	概 要
8月7日（木）	10：30-12：00 13：00-14：30 14：45-16：00	森田美弥子 ほか	人間関係を学ぶ／ 人間関係から学ぶ	あなたは、自分自身の人とのつきあい方の癖を知っていますか？このコースでは、臨床心理学で用いられている技法を応用して、自己理解と他者理解の手助けとなるような体験学習を行います。それを通して、臨床心理学の基礎にふれてもらうことを目指します。

定員：各コース15名 申し込み締め切り：7月10日（木）（受講希望が多数の場合は、選考となりますが、第二、第三希望がある場合は、申し込みの際、その旨明記）

担当部局：教育発達科学研究科

（7）「視覚文化探究講座—『視覚力』をつける—」：私たちは視覚の時代に生きています。アニメ、ゲーム、TV、インターネット等。多くの情報が、目に見える形で提供されます。この講座では、見ることについて、美術や映画それにダンスなどの表現を通して考え簡単な制作もおこないます。見る力、『視覚力』を身につけ、魅力的な視覚文化へと一歩を踏み出しましょう。

日	時 間	担当者	テーマ	概 要
7月29日（火）	10：30-12：00	木俣 元一 (文学研究科)	見えないものを見る：歴史のなかの視覚文化	美術を使って眼に見えるものを描くのは当然。中世の美術は眼に見えない存在を表現しようとした！でも、どうやって？
	13：00-15：00	山口 庸子 (国際言語文化研究科)	踊る身体のイメージ	ダンスの歴史を紹介しながら身体と、写真・映画などのメディアとの関わりを考えます
7月30日（水）	10：00-12：00 13：00-15：00	池側 隆之 (国際言語文化研究科)	伝える／伝わるアニメーション	日常の隅々にまで浸透する「アニメーション」を再発見し、時間をデザインすることの意味を考えます
7月31日（木）	10：00-12：00	藤木 秀朗 (文学研究科)	映画のはじまり	初めて登場した映画がどのようなものであったか、今とはどのように違っていたのかを考えます
	13：00-15：00	秋庭 史典 (情報科学研究科)	作品の鑑賞者の相互作用	作品のよさを引き出すには？ 見る人の力を引き出すには？
8月1日（金）	10：00-12：00 13：00-15：00	茂登山清文 (情報科学研究科)	ポートレイトを見る／撮る	アートの写真の最先端を見ましょう。そして、みんなでポートレイトと写真を撮り、視覚の伝達力について考えます

定員：25名 申し込み締め切り：7月10日（木）

担当部局：情報科学研究科、名古屋大学ヴィジュアルスタディーズネットワーク

(8) 「電子工学探究講座—不思議と英語が聞こえてくる?!—」:なぜ、日本人は英語の聞き取りで苦勞するのか?この講座では英語を聞き取りやすくする電子工学的工夫について分かりやすく紹介します。試作器による実演と体験をしてもらいます。

日	時間	担当者	テーマ	概要
7月29日(火)	10:30-12:00	古橋 武 ほか	不思議と英語が聞こえてくる!	英語の聞き取りで苦勞していませんか?英語を聞くことに神経を集中しても、集中力が5分ともたないことはありませんか?なぜ日本人は英語の聞き取りで苦勞するのか?どうすれば聞き取りやすくなるのか?・・・この講座では、英語を聞き取りやすくする電子工学的工夫についてわかりやすく紹介します。講師自身が「耳」からうろこがおちた?!体験を語り、試作器の実演をします。受講生のみなさんにもヒアリングテストを受けながらその効果を実体験していただきます。

定員:25名 申し込み締め切り:7月10日(木)

担当:工学研究科 古橋研究室

(9) 「コンピュータ活用探究講座—数学・物理が見えてくる?!—」:数学・物理の理解に苦しんでいませんか?この講座では、コンピュータの活用によりイメージで高校数学・物理を理解しやすくする工夫を紹介します。入試問題を題材にコンピュータを駆使したビジュアル解法も紹介します。

日	時間	担当者	テーマ	概要
7月29日(火)	13:00-14:30	古橋 武 ほか	数学・物理が見えてくる!	数学・物理の理解に苦しんでいませんか?イメージがなかなか描けなくて、問題が難しくみえたりしていませんか?この講座では、コンピュータの活用によりイメージで高校数学・物理を理解しやすくする工夫を紹介します。実際の試験問題を題材に、コンピュータを駆使したビジュアル解法も紹介します。

定員:25名 申し込み締め切り:7月10日(木)

担当:工学研究科 古橋研究室

(10) 「オープン・カレッジ」：名古屋大学の各研究科から代表的な研究者による連続講義です。

日	時間	担当者	テーマ
2008年			
9月6日(土)	10:00-12:00	木俣 元一 (文学研究科)	新約聖書の美術：キリストの生涯を描いた絵画を読む
10月11日(土)	10:00-12:00	水野 正明 (医学系研究科)	I C Tを基盤にした新しい連携医療体制
11月1日(土)	10:00-12:00	水野 亮 (太陽地球環境研究科)	電波望遠鏡で探る地球大気環境
11月15日(土)	10:00-12:00	田原 譲 (エコトピア科学研究所)	宇宙を実感してみよう：元素の起源と分光観測
12月6日(土)	10:00-12:00	中川弥智子 (生命農学研究科)	熱帯林の生物季節：花はいつ咲くの？
12月20日(土)	10:00-12:00	齋藤 洋典 (情報科学研究科)	ジェスチャー・行為・意味：意味の生まれる気配を求めて
2009年			
1月24日(土)	10:00-12:00	福澤 直樹 (経済学研究科)	福祉国家の歴史：その生成過程と機能
2月7日(土)	10:00-12:00	寺田 盛紀 (教育発達科学研究科)	現代若者の職業観
3月7日(土)	10:00-12:00	定形 衛 (法学研究科)	9. 11以降の国際秩序
3月14日(土)	10:00-12:00	黒田光太郎 (工学研究科)	工学倫理はなぜ大切か

場所：名古屋大学経済学研究科 定員：50名 申し込み締め切り：8月25日(月)

担当部局：経済学研究科